

目次

可決した主な議案等の概要 … 1P

予算審査特別委員会の審査の概要… 2P

常任委員会の審査の概要… 2～3P

一般質問・通告要旨 …… 3～5P

表決結果一覧 …… 6P

とうがね市議会

だより

第187号 令和3年5月1日
 発行 東金市議会
 編集 議会報編集委員会
 東金市東岩崎1-1
 TEL.0475-50-1181



東金市議会議員一般選挙（令和3年3月21日執行）後、初の市議会臨時会が、4月14日に開かれました。この臨時会において、正副議長の選挙などが行われました。なお、臨時会の詳細は3月1日発行予定の議会だよりに掲載する予定です。



東金市議会
議長
石崎公一



東金市議会
副議長
相京邦彦

議長に石崎公一氏、
副議長に相京邦彦氏を選出

令和3年第1回
東金市議会定例会

令和3年度一般会計予算や東金市企業立地奨励条例の制定など24議案を可決・同意

可決した主な議案の概要

東金市企業立地奨励条例の制定について 【第1号議案】

新たな進出企業による市内への立地及び市内に立地している企業による事業所の増築等を伴う設備投資に対し、市が奨励金を交付することにより、企業立地及び設備投資を促進し、地域経済の活性化を図るため、「東金市企業立地奨励条例」の制定について、議会の議決を求めるもの。

令和3年度東金市一般会計予算について 【第11号議案】

歳入歳出予算の総額を192億7,000万円と定めることについて、議会の議決を求めるもの。

可決した主な補正予算の概要

令和2年度東金市一般会計補正予算(第10号)について 【第7号議案】

既定の予算額265億2,734万9千円から歳入歳出それぞれ5,573万4千円を減額し、予算の総額を264億7,161万5千円とすることについて、議会の議決を求めるもの。

可決した主な発議案の概要

第11号議案「令和3年度東金市一般会計予算」に対する附帯決議について 【発議案第1号】

昨年10月に明らかになった、東金九十九里地域医療センターに関する告発文について、「病院運営の適正化に関する調査特別委員会」を設置し調査を行ってきたが、未だ全容の解明には至っておらず、病院経営も厳しいものであり、今後の踏み込んだ経営改善の見通しは出されていない。

そのような状況の中で、明らかとなった本件事は、市民の信頼を損なう事であり、本件が解明されない中で、当市から医療センターに関する支出を行うことは市民にとって、到底納得のできないものであると考えられることから、

- 1 中立・公正な第三者委員会で、必ず事実関係を明らかにすること。
- 2 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター理事長を含む関係者の責任を明確にし、処分内容を提示すること。
- 3 病院事業特別会計繰出金については、当面、医療センターの運営に必要な範囲での支出とすること。
- 4 3の内、運営費分に係る支出については、第三者委員会の結論を待って支出すること。

以上の4点について要望をするもの。

第16号議案「令和3年度東金市病院事業特別会計予算」に対する附帯決議について 【発議案第2号】

※発議案第2号においては、発議案第1号における要望事項のうち、3を、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター事業負担金については、当面、医療センターの運営に必要な範囲での支出とすること。」とする。

※附帯決議とは 議会または委員会における審議の対象である事件の議決に当たって、その事件について付随的に付けられる意見又は要望の決議のこと。議会としての意思表示である附帯決議は法的な拘束力を有しないが、市長等はこれを尊重する政治的、道義的な責務を負うこととなる。

令和3年第1回東金市議会定例会は、2月5日から3月2日までの26日間の会期で開かれました。本定例会では、市長提出の19議案と追加議案5件は全て可決・同意されました。また、議員提出の発議案4件は全て可決され、陳情1件は採択となりました。個人質問では、代表質問を2会派2名、関連質問を7名、個人質問を6名が行い、市政全般についての議論が行われました。



次回の定例会

令和3年第2回定例会は、6月1日(火)午前10時から開会される予定です。また、請願・陳情の提出期限は、5月25日(火)午後5時までです。詳しくは議会事務局まで TEL.0475-50-1181

各会計予算審査特別委員会での主な質疑

第11号議案 令和3年度東金市一般会計予算について

- 問** 令和3年度予算は、第4次総合計画の初年度の予算であるが、今後の取り組みは、予算にどのように反映されているのか。
- 答** 総合計画の初年度として、重点戦略として総合計画で位置づけている、学校教育の充実、人材育成の推進ということで、GIGAスクール構想におけるICT環境整備に伴う、小学校コンピューター事業などを計上しているところである。また、新たな企業誘致の推進ということも重点戦略で位置づけられていることから、企業立地戦略策定業務委託の経費を計上しているところである。
- 問** 不適切な運営を告発されている中で、今の医療センターに、何の制約もなく支出をするというのは、違和感がある。一方で、地域になくはない病院であるということも理解はしている。そこで、真に運営に必要な部分のみを必要な時に支出するという事は可能か。
- 答** 元利償還分の1億3,100万円は、設立団体が、基金の返済に充てる資金であり、この支出を行わないとすることはできない。ただし、運営費分については、法人のキャッシュが回れば、経営はある程度成り立つということだと考えられることから、第三者委員会の様子を見て、運営費負担分を支出という事も可能である。
- 問** 昨今のコロナ禍の影響で、主食用米が過剰な状況になっており、飼料用米等に変更を考える生産者も増えると思うが、そのようなことを想定した予算となっているか。
- 答** 主食用米の過剰が、近年問題になってきており、それに伴う米価の下落というの、大変問題視されている。それに伴い、市としても、飼料用米、加工用米への転換、市の単独補助ということも見込んで、予算化をしている。

第12号議案 令和3年度東金市国民健康保険事業特別会計予算について

- 問** 保健事業費の短期人間ドック補助金について、補助対象者を令和元年度の実績に近い700名で見ているとのことだが、補助額の上限が5万円から3万円になることにより、どのような影響があると考えているのか。
- 答** 短期人間ドックを受検している多くの方からは、これからも受検していきたいとの話を伺っていることから、受検者数は現状と大きく変わらないと考えている。

第14号議案 令和3年度東金市介護保険事業特別会計予算について

- 問** ケアタクシー利用者負担軽減補助金の利用見込みと最近の利用状況は。
- 答** 令和2年度の利用者は223名の見込であり、令和3年度も同程度見込んでいる。利用の傾向としては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少している。

開催日 令和3年2月17日・18日・19日
 委員長 清宮 利男
 副委員長 坂本 賀一
 委員 布施 満明・宮沢 敬人・伊藤 博幸
 ・上野 高志・相京 邦彦・櫻田 あや子
 ・石田 明・塚瀬 一夫・石崎 公一

第16号議案 令和3年度東金市病院事業特別会計予算について

- 問** 東千葉メディカルセンターに対する設立団体からの運営費負担金の内の運営費分については、メディカルセンターを運営する法人から収支上の不足分といったことで必要額が示され、その額について交付しているものなのか。
- 答** 法人から示された必要額の交付といったものではなく、設立団体による実質負担額、いわゆる真水分を考慮したなかで、国から示された地方公営企業への繰出金の基準による繰出しの項目に係る、各年度における地方交付税の措置額等に基づき交付するものである。なお、前倒しによる負担金の交付については、開院初期における資金繰りへの対応として行ったものである。
- 問** 令和6年度以降の設立団体による実質負担額、いわゆる真水分についての考えや見通しはどうか。
- 答** メディカルセンターの経営の継続に向け、どの程度の負担を要するのかといったことについては、千葉県試案における設立団体としての実質負担額の範囲ということで、単年度当たり2億6,500万円といったものを意識したなかで、次期中期目標及び中期計画の策定に係る協議等において示してまいりたい。また、これと併せて、引き続き県に対する3つの要望・提起事項の実現に向けた取組にも努めてまいりたい。

第17号議案 令和3年度東金市下水道事業会計予算について

- 問** 下水道事業資本的収入が、前年度比57.8%の減、支出が21.3%の減となっているが、その理由は。
- 答** 令和2年度で実施している、田中汚水中継ポンプ場及び木島下汚水中継ポンプ場の改築更新工事が終了することによるものである。

第18号議案 令和3年度東金市ガス事業会計予算について

- 問** 受注工事収益について、新築でオール電化の選択が増えている中、新設予定件数110件という数字は難しいのではないかと。どう開拓していくのか。
- 答** 新築でガスを使ってもらうのが厳しい状況の中、住宅メーカーなど、市ガスを使ってくれる所もあるので働きかけを考えている。

* 第11号議案及び第16号議案については、委員から執行部に対し4点の要望を求める附帯決議の申し出がありました。採決の結果、賛成多数により可決したことから、附帯決議が付されました。(1ページの発議案第1号・第2号と同様の趣旨・内容)

常任委員会における主な審査の概要

総務常任委員会

総務常任委員会は2月22日に開催されました。委員会では3議案が審査され、いずれも原案どおり可決すべきものと決定されました。

第6号議案 東金市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 事務手続上の変更を行うとのことだが対象者の見込み数は。

答 今回の変更のうち、母子家庭等の医療費等の助成に関する事務に該当する世帯は、令和2年7月時点で、約500世帯。その世帯に属する子どもが約850人、合計で約1,350人である。

問 該当者が医療機関を受診した際は、改めて費用の助成についての申請は必要なのか。

答 該当者には3月中に受給券を送付する予定であり、4月から現物給付となるため、別途申請をしていただく必要はない。

第7号議案 「令和2年度東金市一般会計補正予算(第10号)について

問 小規模事業者支援事業については、当初の想定より多くの申請があったことにより、今回増額補正となったものと思われるが、申請数が増加した要因は。

答 今回の補正により、全体として63件の申請に対応できる予算になるものと考えている。また、補助率が、国と市を合算すると、一般型と災害型は6分の5、コロナ型は12分の11となっていることや、商工会議所も含めて積極的な周知を図ったことが、申請数の増加につながったものと捉えている。

第19号議案 山武郡市広域行政組合規約の変更に関する協議について

問 今回共同設置する予定である、基幹相談支援センターの設置時期は。

答 令和3年度中に山武郡市広域行政組合で準備を進め、令和4

年4月より開始される予定である。基幹相談支援センターの運営については、どのくらいの財政規模を想定しているのか。

答 今後、山武郡市広域行政組合の方で具体化されてくることとなるが、現在までの試算では、年間3,000万円強の費用を見込んでおり、この費用が山武郡市の構成自治体の分担金として加わるものと思われる。なお、国県の補助対象事業ともなるので、一定の補助金も見込めるものと考えている。

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は2月24日に開催されました。委員会では7議案及び陳情1件が審査され、7議案については、いずれも原案どおり可決すべきものと決定されました。また、陳情第20号については採択すべきものと決定されました。

第3号議案 東金市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

問 個人所得課税の見直しに伴う住民税基礎控除の10万円の引上げ及び、給与所得控除と公的年金控除等の10万円の引下げを行う制度改正の趣旨は。

答 フリーランスや起業、在宅で仕事を請負う子育て中の女性などの税負担を軽減することにより、様々な形で働く人を応援し、働き方改革を後押しするものである。

問 フリーランスなどの税負担がどのように軽減されるのか。

答 税負担の軽減は2つあり、1つ目は、軽減基準額を33万円から43万円に引き上げ、保険税の軽減が適用されるようになること。2つ目は、前年の所得に応じた税額を計算する際に住民税基礎控除を差し引き、その額に税率を乗じることとなるが、基礎控除を10万円引き上げることにより住民税基礎控除を差し引いた額が10万

※お知らせ

公職選挙法では、議員等は「選挙区内にある者に対し、いかなる名義をもってするを問わず、寄附をしてはならない。」とされていることから、東金市議会では、虚礼廃止を徹底すべく申し合わせています。

円少なくなるため、税負担が軽減される。

第5号議案 東金市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

問 今回の条例改正により、介護保険料月額基準額が前期保険料と比較して100円減額され、5,600円となる要因及び、保険料算定に当たり活用する基金の額は。

答 高齢者の方々の健康意識の高まりと、市で実施している予防講演会やコロナ体操などの予防事業の効果により、保険給付費の伸びが予測より緩やかとなり、この流れは次期計画期間においても続くことが想定されることが引き下げの要因である。また、今年度末の基金残高は、5億2,000万円を見込んでおり、そのうち4億3,000万円を保険料引き下げに活用する予定である。

第8号議案 令和2年度東金市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について

問 特定健康診査等事業費2,686万4千円の減額となる理由は。

答 新型コロナウイルス感染症の拡大により、3密回避等の感染防止対策を講じての集団による特定健康診査の実施は、非常に難しい状況であることから、当初予定していた集団健診は、すべて見送り、その代替として、個別健診によって対応したためである。

第10号議案 「令和2年度東金市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について

問 介護サービス等給付費の2,000万円の増額の理由は。
答 特別養護老人ホーム等の施設系サービスの利用が伸びていることが、給付費の増額の要因と考

建設経済常任委員会

建設経済常任委員会は2月25日に開催されました。委員会では1議案が審査され、原案どおり可決すべきものと決定されました。

第1号議案 東金市企業立地奨励条例の制定について

問 新設の事業所の要件に、常時雇用する従業員数が5人以上とあるが、雇用の促進等による地域経済の活性化を図ることを目的としているならば、常時雇用する従業員を市民に限定した方が、目的に即しているのではないか。

答 市民に限定しなかった理由については、市外からの事業所の移転の場合、現在、雇用している技術者も事業所と共に移動して会社を存続するというケースを想定していることが一点、また、本市の特徴として、千葉市、八街市、大網白里市を始めとする、近隣市町村からの就業人口が多いという地域特性を考慮し、市民の雇用については努力規定としたものである。

問 土地の確保はどのような方法を検討しているのか。

答 令和3年度予算に委託費を計上しており、その業務において、事業者の動向、ニーズ等の調査を行う。また、市でも候補地を探していることと考えている。さらに、事業者からの問い合わせの中では、土地を借りたい、貸したい、などの要望が、多々あることから、事業者向けの立地バンクのようなものを令和3年度は立ち上げたいと考えている。そのことが、今後の企業誘致、また産業用地の整備に繋がるものと考えている。

市政に関する一般質問

新生みらい・蒼政会は代表質問及び関連質問、その他は全て個人質問 ※正・副議長及び議会運営委員長は、申し合わせにより一般質問を差し控えることとなっています。



1

教育行政

いじめを認知した際の対応と「きずなカード」について



新生みらい 清宮利男

問 学校や教育委員会でいじめを認知した際、どのような対応をとっているのか。又、児童生徒への「SOSの出し方教育」の取り組みとして、極めて重要であると考えている「きずなカード」について伺う。

答 現在、いじめを認知した際には、迅速な対応が肝要であり、事案に関係している児童生徒から丁寧な話を聞き取り、被害を受けている児童生徒の保護をすることともに、関係保護者へ事案の内容や現状、今後の対応策を伝え、協力を依頼し

一般行政

今後の消防団活動維持のための団員数確保について



新生みらい 石田 明

問 消防団員数の減少に伴い休班になる地区があるなど、消防団活動の維持が課題となっている中、団員の負担の割合に手当てが少額であることも今後、改善すべき点の一つであると捉えている。

答 消防団員数の減少に伴い休班になる地区があるなど、消防団活動の維持が課題となっている中、団員の負担の割合に手当てが少額であることも今後、改善すべき点の一つであると捉えている。消防面等を考慮すると、団員を確保し、今後も消防団活動を維持していく必要があるものと考えているが、市の見解は。

医療行政

今後のPCR検査体制の在り方について



新生みらい 穴倉敬文

問 東千葉メディカルセンターに地域外来・検査センターの開設を予定しているとのことであるが、緊急事態宣言下の現状であり、今後の感染拡大の更なる備えとして、山武管内の他の公立病院などでもPCR検査を行うことが必要だと考えるが、今後の検査体制の在り方について伺う。

答 山武管内の公立病院では、発熱外来を開設しており、その場で医師が必要と判断した場合はPCR検査をすぐに受けられる体制を整えられている。なお、症状がある方の検査費用については自己負担額が無いが、無症状で本人の希望によるPCR検査については、全額自費となる。現在のところ山武管内の公立病院で、このPCR検査を予定しているところはない。

医療行政

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの議事録について



新生みらい 相京邦彦

問 理事会での議事の結果や報告事項の内容等については、議事録という形で東千葉メディカルセンターのホームページで確認できるが、掲載されている内容は、議事とその賛否等の概要であって、詳細を知ることができない。積極的な情報公開が求められる中で、理事会の議事録について、より詳細な内容による公表が必要ではないかと考えるが、設立団体である市の見解は。

答 地方独立行政法人法において、法人は情報の公開に努めるよう定められている。また、掲載内容についても、より詳細な情報の公開により、多くの方々に法人の業務内容を理解いただけるよう、他の医療機関等の例も参考にしながら改善に努めていきたいと考えている。

通告要旨(関連質問)

- ◇(消防団の現状について関連質問) ①団員手当の支給について

通告要旨(代表質問)

- ◇令和3年度当初予算について ◇新型コロナ緊急経済対策の地方税制特例について ◇令和3年度税制改正について ◇マイナンバーカードについて ◇外国人住民の対応について ◇防災対策について ◇いじめ問題について ◇GIGAスクール構想について ◇市内小中学校の適正配置について ◇東千葉MCについて ◇新型コロナウイルスへの対応について

通告要旨(関連質問)

- ◇(防災行政無線デジタル化工事について関連質問) ①計画の進捗と問題点について ◇(GIGAスクール構想について関連質問) ①教職員の研修状況について ◇(日吉台小・源小の統合について関連質問) ①通学バスについて ◇(東千葉MCへの告発文書について関連質問) ①契約業務について ②今後の市とMCとの関係について

市政に関する一般質問

一般行政

飲食店などへの新たな経済対策について



蒼政会 伊藤博幸

緊急事態宣言の延長に伴い、飲食店には午後8時までの営業時間短縮が要請され、売上減少が続いている飲食店が、さらに厳しい状況にあると考えられる。

飲食店をはじめ付随する業種を救うため、新たな経済対策が必要だと考えるが、今後、どのような事業を進めていくのが当局の考えを伺う。

市としても、約1年に及びコロナ禍により、幅広い業種の、多くの事業者が、売上減少にみまわれ、大変厳しい状況にあ

通告要旨(代表質問)

- ◇コロナ禍における市民生活への取り組みについて
◇子育て環境の充実について
◇高齢者支援の充実について
◇福祉計画について
◇農業振興施策について
◇新ごみ処理施設整備事業について

福祉行政

第2次地域福祉計画の進捗状況と今後の見通しについて



蒼政会 宮沢敬人

第2次地域福祉計画は、市の福祉関連の部署と社会福祉協議会との連携が重要と考えるが、新型コロナウイルス感染症拡大による計画の進捗への影響と、次期計画を含めた今後の見通しを伺う。

現在、進捗状況の確認や事業の評価を行う作業を行っており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、民生、児童委員や各種ボランティアの活動に制限がかかっているが、5年間という計画期間における影響は、

一時的なものと考えている。また、次期計画は、令和4年度から5年間を予定しており、策定に当たっては、現計画の評価と課題の整理を行うとともに、関係団体等への調査や市民アンケート調査等を実施して、計画案にまとめ、市民代表による協議機関である計画策定委員会に諮り、次期計画に反映させた

通告要旨(関連質問)

- ◇福祉計画について関連質問
①第2次地域福祉計画の進捗状況について
②新型コロナウイルスによる計画への影響について
③次期計画を含めた今後の見通しについて
◇(経営所得安定対策について関連質問)
①実績に対する評価について

環境行政

新ごみ処理施設整備事業について



蒼政会 坂本賀一

消費増税やコロナ禍による経済への影響は数年続くと思われる、市税収入も減少することが予想される。そのような中で進められる新ごみ処理施設建設事業について、その財源と取り組むべき課題について伺う。

新ごみ処理施設整備事業の財源については、国の交付金活用をはじめ、各事業費の精査を東金市外三市町清掃組合に働きかけ、市の負担軽減に努めるとともに、未来への投資に係る事業の推進と併せて、

通告要旨(関連質問)

- ◇(新ごみ処理施設整備事業について関連質問)
①市の負担額と起債償還期間について
②その財源について
③施設建設における取り組むべき課題について

福祉行政

高齢者に対する買物支援策について



蒼政会 中村美恵

高齢化や運転免許証の返納等により、今後、買物に不便さを感じる高齢者の更なる増加が見込まれる中で、本市においても高齢者が生きがいを感じながら、安心して暮らし続けられるような支援システムを構築していく必要があると考えている。

こうした中、買物支援として移動販売等に取り組んでいる民間事業者もあるが、本市の買物支援策に対する見解を伺う。

高齢化の進展に伴い、買物支援に係るニーズは更

通告要旨(関連質問)

- ◇(子育て環境の充実について関連質問)
①幼稚園の預かり保育について
②幼稚園の給食について
◇(高齢者支援の充実について関連質問)
①東金市口コモ体操について
②買物支援について

農業振興行政

基盤整備事業の進め方について



蒼政会 宮山 博

農業における作業の効率化や後継者の育成等を考えれば、耕作しやすい圃場の整備は重要な農業振興施策であると考え、基盤整備事業を進める上で、受益者の費用負担が大きな課題となっている。

他市では、様々な手法を活用して、地元負担の軽減を図り、基盤整備を実現した事例もあることから、本市においても受益者の負担を軽減した上で、基盤整備事業を積極的に進めるべきと考えるが、市の見解は、

本市の近年の農業基盤整備事業については、平成10

年度から平成15年度にかけて行った「東中島地区」以降、実施していない状況である。本事業を実施する上では、費用の一部を受益者に負担していただくこととなるが、農業者の方々にとって費用負担が重いことが、「東中島地区」以降、事業採択に至らなかった主たる原因と認識しているところである。

基盤整備事業の推進にあたっては、受益者負担の軽減手法等について、千葉県等の関係機関や地域の方々とともに協議し、調査、研究していききたいと考えている。

通告要旨(関連質問)

- ◇(農業振興施策について関連質問)
①基盤整備の進め方について
②工場型農場の誘致等について
③スマート農業(ICT活用)について

医療行政

特定保健指導と国民健康保険医療費分析結果報告について



社会民主党 水口 剛

本市の医療行政の特筆すべき点として、腎機能の検査項目値に着目して、将来的な人工透析の導入が予測される方々の保健指導があげられる。これは、城西国際大学と連携して医療費分析を行い、その結果を受けて市の保健師等の専門職が中心となって該当者への保健指導を行うことで、医療費の圧縮へつなげるものであるが、これまでの成果について伺う。

施した57名について分析を行った。その結果、保健指導実施前後の透析導入の推定時期については、57名の平均として、36・2カ月延長させることができた。

また、透析導入時期の延長による医療費削減効果としては、同期間で1億1,440万円の医療費が削減されており、今後も同様の事業を展開した場合は、令和2年度から令和6年度まで、毎年約1億円、5年間で5億2,810万円の医療費の削減が見込まれるものと推定されている。

通告要旨(個人質問)

- ◇2021年度当初予算について
◇保険医療について
◇新型コロナウイルスについて
◇東千葉メディカルセンターについて

市役所1階ロビーで本会議中継をご覧いただけます。

市本会議中継は市役所1階ロビーに設置されたテレビでもご覧いただけます。また、インターネット中継により、スマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。なお、過去の録画映像についても、東金市ホームページよりご覧いただけます。

一般行政 地方創生臨時交付金を活用した 地域経済の消費喚起策について



公明党
布施満明

問 コロナ禍により、飲食店等の営業時間の短縮要請がなされたが、今後もこのような状況が続けば、地域経済の更なる疲弊が想定されるため、緊急事態宣言解除後の消費喚起が重要と考えている。

答 市のとしても、幅広い業種の多くの事業者が

他の自治体では、国の1次、2次補正による交付金を活用して、地域振興券等を発行しているところもあるが、本市においても、地域振興に資する商品券等を発行する考えがあるのか伺う。

売上減少に見舞われ、特に飲食店に関しては厳しい経営状況にあると認識している。

そのような状況ではあるが、新たな経済対策の実施には多額の財源が必要となることから、市単独予算では限界がある。今回の国の3次補正予算において地方創生臨時交付金が追加されることとなったので、様々な可能性や期待される効果等を視野に入れ、検討していきたいと考えている。

通告要旨(個人質問)

- ◇GIGAスクール構想について
- ◇校務支援システムについて
- ◇コロナ禍の歳入減少対策について

医療行政 東千葉メディカルセンターの 不祥事の徹底究明と県営化による 安定的運営と病院機能充実を



日本共産党
前田京子

問 東千葉メディカルセンターの不祥事については、病院や行政から独立した第三者委員会を設置し、告訴や告発を前提に徹底的な真相解明をすべきである。

また、今回の事案の背景には地方独立行政法人制度があると思われることから、今後は県営化による安定的な運営と医療機能の充実を図るとともに、医療従事者が安心して働ける病院にすべきと考えるが市の見解を伺う。

答 第三者委員会の委員の構成については、法人や設立団体からの独立性が確保

される弁護士や公認会計士などの専門家を想定し協議を進めており、調査結果については積極的な公表を行う。但し、告訴、告発に関しては、今回の事案を明らかにしていく中で、明確な証拠が整った場合に、告訴、告発といった流れとなる。

また、県営であればこのような事はなかったものと推測され、今後も、法人の認可・指導団体である千葉県には、人的・財政的支援といった、県の役割について一層認識頂き、この地域の医療の充実と繋げることができよう対応したい。

通告要旨(個人質問)

- ◇新型コロナウイルス感染症対策について
- ◇東千葉メディカルセンターについて
- ◇通学路・生活道路の住民要望について

医療行政 新型コロナウイルス対策の 予算措置について



議員会
佐久間治行

問 今コロナ禍において、危険と隣り合わせで医療に従事されている医師や看護師などの医療従事者に対する慰労や感謝の気持ちから、県での補助とは別に、市独自の給付金といった予算措置ができないか伺う。

答 医療従事者に対しては、地域の方々の健康を守ってくださっていることに感謝の念が堪えない。

このような医療従事者については、県において新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付

事業を実施しており、新型コロナウイルス感染症に対する医療提供を行っている医療機関の医療従事者や職員に対して、最大20万円の給付をしている。

当市における独自の給付については、新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制がこの地域に限定されているものではないことなどから、慎重な検討が必要であると考えている。

通告要旨(個人質問)

- ◇新型コロナウイルス対策について
- ◇GIGAスクールについて
- ◇小規模校の運営について
- ◇関係人口について
- ◇持続可能な地域づくりについて

一般行政 東金市女性職員の 管理職への登用を



日本共産党
櫻田あや子

問 女性が意欲決定の場においてこそ、女性の声が政策に生かされる。7級職である課長職以上は平成28年度は2名、その後は不在であり、男女平等に逆行しているように感じられる。全国的にシエーター平等の機運が高まる中、東金市は後退している。

内閣府の調査では、令和元年度の一般行政職における課長職への女性登用状況は、全国平均17.8%、千葉県は10.2%、本市を含め県内の5自治体が0%となっており、この状況について、当局はどのように認識しているのか伺う。

答 本市の管理職は、一般行政職において6級以上としており、女性職員の状況は令和2年度は6級職の副課長相当職は6名、7級及び8級に相当する職員はいない状態である。6級職から8級職までの管理職全体に占める女性職員の割合は7.5%である。

女性管理職の配置については、その時々ポストの数、一般行政職の男女比率、年齢構成などによつて変化しますが、個人の適正を踏まえた効果的な人材育成を進めながら、職員が持つ能力を發揮できるポストへの配置に努めていきたい。

通告要旨(個人質問)

- ◇生活保護制度について
- ◇男女共同参画について
- ◇いじめ問題について
- ◇不登校対策について
- ◇教職員の過重負担について

福祉行政 コロナ禍における、 安心な検診体制について



公明党
佐竹真知子

問 今後も感染症の対策を続けていく必要があると予測されるが、コロナ禍であっても感染予防に配慮した、また受診しやすい健診体制というものが、必要だと考えるが、今後の健診体制についてどのように考えているのか伺う。

答 来年度の特定健康診査においては、集団健診は感染対策の徹底をするため、ふれあいセンターにて、1時間単位の完全予約制で6月に12日間実施する予定である。又、個別健診では、例年どおり年度末まで受けられる体制で考えているが、集団

健診を希望しても、やむなく個別健診の受診となる方が想定されることから、公平性を鑑み、個別健診の負担額千円を無料にすることも考えている。

また、がん検診においても、今年度と同様、十分な感染対策を行った上で集団健診と個別健診を実施したいと考えている。

通告要旨(個人質問)

- ◇住民サービスの向上について
- ◇SDGsの推進について
- ◇生活保護受給者の健康管理支援策について
- ◇コロナ禍での健康行政について
- ◇防災施策について
- ◇成人式について

議会改革特別委員会について

議会改革特別委員会は、平成29年第3回定例会で設置されて以来、23回にわたる委員会を開催し、「政務活動費に関すること」、「議員政治倫理に関すること」、「議員定数に関すること」及び「その他議会改革に関すること」についての調査・検討を重ねてきました。

4年間にわたる議会の改革に向けた慎重な審議により、当初の目的を達成したことから委員会を解散することとなりました。

病院運営の適正化に関する 調査特別委員会について

病院運営の適正化に関する調査特別委員会は、令和2年第4回定例会で設置されて以来、6回にわたる委員会及び2回の協議会を開催し、付託された調査事項についての調査・協議を重ねてきました。

そして、第6回委員会において設立団体による弁護士等をメンバーとした「第三者委員会」の設置が確認されたことから、今後の調査をこの第三者委員会に託し、委員会を解散することとなりました。

※なお、詳細については東金市議会のホームページをご覧ください。

◆ 令和3年第1回定例会 表決結果一覧 ◆

賛否が分かれた議案等

Table with columns for item name, result, and council members' votes (布, 中, 宮, 前, 伊, 土, 坂, 上, 相, 佐, 櫻, 清, 前, 佐, 水, 石, 小, 宍, 塚, 渡, 石, 宮, 賛). Includes a legend for result symbols (○, ×, 可, 同, 採) and a note about the Mayor's participation.

全議員が賛成した議案等

Table with columns for item number, item name, result, item number, item name, and result. Lists 5 items that received unanimous approval from all council members.



令和2年度議会報編集委員会

〈委員長〉上野 高志 〈副委員長〉土肥 紀英
〈委員〉布施 満明 宮沢 敬人 櫻田 あや子

当編集委員会では「とうがね市議会だより」を通じ、市民の皆様へ議会活動をよりわかりやすくするため、紙面づくりに励んでおります。議会だよりに関するご意見・ご感想をお寄せください。

問合せ先:0475-50-1181

※次号(第188号)より、令和3年度議会報編集委員会による編集となる予定です。